

ハイブリッド手術室完成のお知らせ 心臓血管外科 吉龍 正雄



高度な医療を身体に負担をかけず
安全確実に

Allura Clarity FD20 OR PHILIPS
MAGNUS OR Table System MAQUET

ハイブリッド手術室とは

ハイブリッド手術室とは、人工心肺装置や麻酔設備などがある清潔な手術室内に、3D撮影も可能な高性能のX線撮影装置を備えた、開胸・開腹手術と血管内治療のいずれにも同時に対応できる高度な未来型の手術室になります。

従来は、血管撮影室で行っていた血管内治療が、手術室の空気清浄度のもとで、より清潔かつ安全に実施可能となります。また、開胸・開腹手術の最中でも、X線透視装置の使用により血管や臓器画像をリアルタイムで作成でき、最新の周辺支援システムと検査画像を融合することにより、治療の確実性が高まり、新しい手術方法の可能性が広がります。

カテーテルによる経皮的な心臓弁置換、大動脈ステント、ペースメーカー植込み手術や心室頻拍へのアブレーションなどのハイリスクな不整脈治療など、従来では身体へのダメージの大きさから治療が困難であった患者さんにも実施することができ、その他、脳血管を始めとする全身の血管治療や脊椎疾患、悪性疾患、重症外傷にも活用されることが期待できます。

心臓血管センター「不整脈科」新設のご案内

心臓血管外科、循環器内科で構成されていた心臓血管センターに不整脈科が新設されました。不整脈の専門医が、お一人お一人の病態、ご希望に合わせて最適なものを選択し、最高水準の医療を提供いたします。

関西ろうさい病院の理念

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

病院運営の基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者さんの権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



眼瞼下垂(がんけんかすい)

形成外科 浅田 裕司

眼瞼下垂とは?

眼瞼下垂とは、文字通り眼瞼(まぶた)が垂れ下がった状態のことです。正常な状態では、まぶたは黒目に少しかかった程度ですが(図1)、瞳孔(黒目の中の真っ黒な部分で光が入ってくる)にかかってくると目に入る光の量が減り(図2)、さらに下がってくると視野が狭くなってきます(図3)。こうなると特に上の方が見えづらくなりますので、転倒や事故を起こしやすくなるなど危険です。

一見あまり下がっていないようでも、実際は額の筋肉を使って眉毛を持ち上げているだけのことが多く、額のシワにつながります。また、常に筋肉に力が入るため交感神経の緊張状態が続き、眼精疲労、頭痛、肩こりなどの要因にもなります。見にくさを補うためにあごを上げる動作は、これもまた肩こりなどの要因となります。さらに、目に入ってくる光が減ることで、見る世界が暗く感じられ、気分が落ち込むなどの症状が出ることもあります。



原因は?

先天性のものは、まぶたを持ち上げる筋肉である眼瞼挙筋の発達障害でおこります。一方、後天性の多くは、眼瞼挙筋とまぶたの連結がゆるむ、もしくはまぶたにつながる腱膜がゆるむことで起こります。腱膜は老化に伴いゆるんでいきますが、まぶたをよく擦る(アトピー性皮膚炎や化粧を落とすときに強く擦る)方やハードコンタクトレンズを使用されている方では、比較的若い頃から腱膜がゆるんでいきます(図5)。

治療方法は?

ここでは最も多い後天性の腱膜性眼瞼下垂の治療の説明をします。比較的軽度で一重まぶたの場合は二重まぶたにするだけで改善することもあります。多くの場合は眼瞼挙筋につながる膜を引き出して固定する手術を行います。二重のライン(一重まぶたの方では、それに相当するライン)に沿って皮膚を切開し、ゆるんだ腱膜を瞼板というしっかりした組織に固定します(図6)。多くの場合は余分になったまぶたの皮膚を切り取ることもします。あまり腱膜がゆるんでおらず、皮膚だけがたるんで余分になった方では、皮膚の切除だけを行うこともあります。手術は局所麻酔で行い、両方で1時間程度の手術となります。まぶたには血管が多いため1週間程度は腫れますので、ある程度時間の余裕を持っておいた方が良いでしょう。抜糸は手術後1週間程度で行いますが、腫れが完全に引くのは抜糸後さらに1~2ヶ月ほどかかります。手術には保険が適用されますので、手術費用は両側でおよそ4万5千円ほどです。

目が開けづらく見にくいなど眼瞼下垂の症状でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

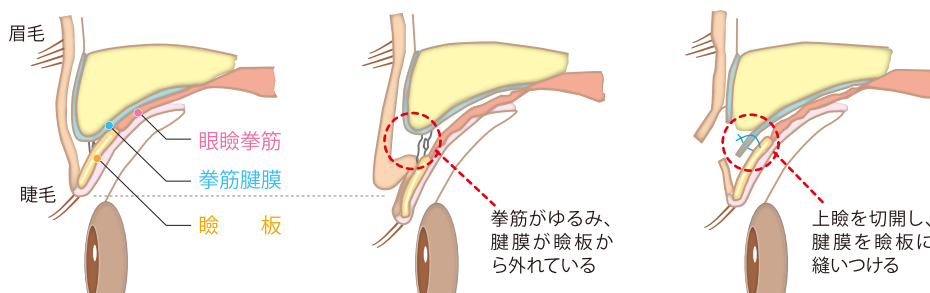


図4 正常な状態

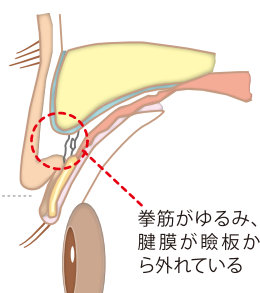


図5 眼瞼下垂の状態

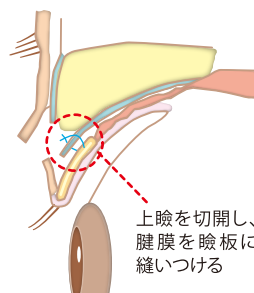


図6 眼瞼下垂の手術の様子

術前



まぶたが瞳孔にかかり見づらいう状態

術後



見づらさが完全に解消された状態